

令和6年8月26日  
愛媛大学

## 第47回放送県民大学「現代教養講座」受講者を募集

愛媛県生涯学習センターと愛媛大学が主催し、愛媛県民の皆様を対象に、豊かな教養と創造力を培っていただくため、放送県民大学「現代教養講座」を下記の県下3会場で開催します。

会場ごとに計3回、本学の教員等による講義とテーマごとの映像と、その関連映像をご覧いただき、知識を深めていただくものです。受講者を募集しておりますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

### 記

■中予会場(松山市) 愛媛県生涯学習センター 開講時間 10:00~12:00/定員:各100名		
10月20日(日)	古典作品にみる動物-ネズミの鳴き声は「チュウ」?-	愛媛大学法文学部 教授 秋山 英治
11月24日(日)	ヤマトタケルをよむ	愛媛大学 名誉教授 清水 史
12月15日(日)	生誕150年 虚子の人生を検証する-漱石・子規との絆-	愛媛大学 元客員教授 木藤 隆雄
■東予会場(新居浜市) 愛媛県総合科学博物館 開講時間 13:30~15:30/定員:各60名		
9月29日(日)	旧別子を詠んだ山口誓子の俳句や住友友成の短歌を味読する	愛媛大学教育学部 教授 青木 亮人
11月10日(日)	『徒然草』の教訓-神官「卜部兼好」の目線-	聖カタリナ学園高等学校 教諭 田中 千晶
12月8日(日)	愛媛の「いま」から多文化共生を考える	東京大学 名誉教授 向井 留実子
■南予会場(西予市) 愛媛県歴史文化博物館 開講時間 13:30~15:30/定員:各60名		
9月28日(土)	内側から見た官の世界	愛媛大学法文学部 教授 福井 秀樹
10月26日(土)	日本の植民地教育が残したもの-元学習者の証言-	愛媛大学国際連携推進機構 准教授 伊月 知子
12月7日(土)	ゴビ砂漠の歴史と文化-モンゴルの発掘現場から-	愛媛大学法文学部 准教授 笹田 朋孝

- 受講資格:原則として、愛媛県内に在住、もしくは勤務の方
- 受講料:無料
- お申込み・お問い合わせ先は、愛媛県生涯学習センターまで  
電話:(089)963-2111 Eメール:top@i-manabi.jp  
ホームページ:<https://www.i-manabi.jp/>

※送付資料3枚(本紙を含む)

本件に関する問い合わせ先  
教育学生支援部 教育企画課 総務チーム  
TEL:089-927-9152  
Mail:manabi@stu.ehime-u.ac.jp



学ぶ喜び、知る楽しさ。  
第47回放送県民大学

受講  
無料

現代教養講座

受講者募集中

愛媛大学をはじめとした先生方によるスクーリングと、その関連映像をご覧いただき、知識を深めていただきます。様々な分野に特化された先生方のお話を聞くことができます。

中予会場  
松山市



愛媛県  
生涯学習センター

- 開講時間／10:00～12:00
- 定員／各100名

10/20 日

講義内容  
古典作品にみる動物  
—ネズミの鳴き声は「チュー」？—  
講師  
愛媛大学法文学部 教授 秋山 英治

11/24 日

講義内容  
ヤマトタケルをよむ  
講師  
愛媛大学名誉教授 清水 史

12/15 日

講義内容  
生誕150年 虚子の人生を検証する  
—漱石・子規との絆—  
講師  
愛媛大学元客員教授 木藤 隆雄

東予会場  
新居浜市



愛媛県  
総合科学博物館

- 開講時間／13:30～15:30
- 定員／各60名

9/29 日

講義内容  
旧別子を詠んだ山口誓子の俳句や  
住友友成の短歌を味読する  
講師  
愛媛大学教育学部 教授 青木 亮人

11/10 日

講義内容  
『徒然草』の教訓  
—神官「卜部兼好」の目線—  
講師  
聖カトリナ学園高等学校 教諭 田中 千晶

12/8 日

講義内容  
愛媛の「いま」から  
多文化共生を考える  
講師  
東京大学名誉教授 向井 留実子

南予会場  
西予市



愛媛県  
歴史文化博物館

- 開講時間／13:30～15:30
- 定員／各60名

9/28 土

講義内容  
内側から見た官の世界  
講師  
愛媛大学法文学部 教授 福井 秀樹

10/26 土

講義内容  
日本の植民地教育が残したもの  
—一元学習者の証言—  
講師  
愛媛大学国際連携推進機構  
准教授 伊月 知子

12/7 土

講義内容  
ゴビ砂漠の歴史と文化  
—モンゴルの発掘現場から—  
講師  
愛媛大学法文学部 准教授 笹田 朋孝

※やむを得ず日程・講師の変更や講座の中止を行う場合がございます。最新情報はホームページ (<https://www.i-manabi.jp/>) をご確認ください。

主催：愛媛県生涯学習センター、愛媛大学

後援：愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

## 愛媛県 生涯学習センター

中予会場  
松山市



秋山 英治  
(あきやま えいじ)

愛媛県出身。愛媛大学法文学部教授。専攻は日本語学。特に愛媛県を中心に、中四国地方の方言アクトを研究。

『枕草子』に「うつくしきもの」という章段があります。この章段では、かわいらしいものが紹介されていますが、その一つに、ネズミの鳴き真似で喜んでやってきたスズメの子のことが描かれています。なぜネズミの鳴き真似をすると、スズメの子が喜んでやってくるのでしょうか。そもそも、『枕草子』が書かれた平安時代において、ネズミの鳴き声はどのように捉えられていたのでしょうか。ネズミの鳴き声が、古典作品のなかでどのように描かれているのか、考えてみたいと思います。



清水 史  
(しみず ふみ)

神奈川県出身。愛媛大学名誉教授、愛媛大学特命アンバサダー(元国際担当副学長)。専攻は言語学・日本語学。日中音韻学交渉史及び愛媛の方言を研究。

『古事記』は、日本でもっとも古く成立した書物で、上中下の三巻から成っています。上巻が神代の巻、中・下巻が人代の巻となります。上巻はもっぱら神話的内容を中心とし、我々のよく知る神話が載せられています。今回は、文学性豊かな筆致で綴られている中巻のヤマトタケルの物語をとりあげ、『古事記』の語る「ふること」にどのようなメッセージが込められているのかをみなさんと一緒に考えてみたいと思います。



木藤 隆雄  
(きとう たかお)

愛媛県出身。愛媛大学元客員教授。ニッポン放送アナウンサーを経てフリー。現在、愛媛朝日テレビのニュースコメントーターの他、川柳番組にも出演。滑稽俳句協会会員。

今年、生誕150年を迎える虚子の人生を振り返りながら、漱石、子規との関係についても考えます。漱石は、虚子に頼まれ「吾輩は猫である」を書いたことから、作家への道が開けました。一方、子規の「自分の後継者になってほしい」という要求を拒否したものの、結果的に後継者になった虚子は、俳句の普及に尽くし勲章を受章しました。虚子の俳句は勿論、芸能人や文化人の俳句も味わってみたいと思います。

## 愛媛県 総合科学博物館

東予会場  
新居浜市



青木 亮人  
(あおき まこと)

北海道出身。愛媛大学教授。専門は近現代俳句、文学。著書に『愛媛 文学の面影』(東予編・中予編・南予編(創風社出版))、『教養としての俳句』(NHK出版)等。

別子銅山は意外にも俳句や短歌とゆかりの深い土地です。昭和期に不世出の俳人として仰がれた山口誓子は住友本社に勤めた関係で銅山を訪れており、戦後に旧別子方面を登頂した際には多くの俳句作品を詠みました。また、第十六代家長を務めた住友友成は短歌を趣味とし、銅山閉山時には住友発祥の地でもある旧別子に赴き、閉山の挨拶を込めて多数の短歌を残しています。本講座では、旧別子ゆかりの俳句や短歌を皆さんとともに味読したいと思います。



田中 千晶  
(たなか ちあき)

愛媛県出身。聖カタリナ学園高等学校教諭。専攻は日本語学。方言話者の意識と日本語教授法を研究。

今回取り上げる『徒然草』は、『枕草子』、『方丈記』と並ぶ日本三大随筆の一つとして現代でも親しまれています。「つれづれなるままに、日暮し硯に向かひて」で始まる序の段を暗記した(暗記させられた)記憶のある方も多いのではないでしょうか。古くから「古い」を司る神職の家柄であったト部家から出家し、その後は仏道修行に励みながら50歳頃に『徒然草』を著したとされる作者。その目が見つめていたものを、一緒に詳らかにしていきましょう。



向井 留実子  
(むかい りみこ)

ルーツは愛媛県。愛媛大学非常勤講師、えひめ日本語教育財ネット代表理事。専門は日本語教育学で、留学生や地域の生活者への日本語教育、日本語指導者・支援者の育成について研究。

日本の産業を支える就労外国人の受け入れ促進に向けて制度整備が進められています。一方で、海外の国々との労働力獲得競争が激化し、日本の魅力が問われるようになってきました。外国人に日本、さらには愛媛を選んでもらい、長く滞在してもらうためには、受け入れ側の私たちが多文化共生の意識を持ち、外国人にとっても住みやすい環境づくりをすることが求められます。この講座では、愛媛の現状から多文化共生のために私たちに何ができるかを考えます。

## 愛媛県 歴史文化博物館

南予会場  
西予市



福井 秀樹  
(ふくい ひでき)

島根県出身。愛媛大学法文学部教授。専攻は政策分析・政治学。主な研究対象は航空政策。2015～2017年に国土交通省航空局に勤務。

私は2015～2017年の2年間、国土交通省航空局に勤務する貴重な機会をいただきました。航空局では政策の企画・立案に必要な調査や政策評価業務等に従事しました。本講義では、この経験を通じて内側から見ることできた官の世界を紹介します。官の世界の現状、あるいはそこから見えてきた世界と日本との関係や日本の教育の課題について、聴講の皆さんにも理解と危機意識を共有していただければ、と思います。



伊月 知子  
(いつき ともこ)

大阪府出身。愛媛大学国際連携推進機構准教授。専門は日本語教育と植民地教育。留学生の日本語授業を担当する傍ら、中国東北地方の戦時下教育について研究。

日本が中国東北地方に「建国」した「満洲国」。戦後、中国では「偽満州国」と言われ、存在自体が否定されました。幻の「国」で日本人とともに教育を受けた学生たちの証言から過去に日本が行った教育が人々に与えた影響について話します。現代の日本が在外国人に対して日本語教育を推進していく上で、過去との違いを明らかにし、私たちが留意したい点についてみなさんと考える機会にしたいと思います。



笹田 朋孝  
(ささだ ともたか)

広島県出身。愛媛大学法文学部准教授。専攻は考古学。東北アジア地域の製鉄、幕末日本の近代産業化(反射炉・海軍所)など、人と鉄の関わりを研究。

モンゴル国南部から中華人民共和国内モンゴル自治区にまたがるゴビ砂漠は、中国の歴史書には「漠」と記載され、遊牧民と半農半牧民を隔てる一つの境界地域でした。酷暑の夏と極寒の冬という過酷な環境でありながらも、旧石器時代からの人々の生活の跡が遺跡として現在に残っています。この講義では、私たちがゴビ砂漠で実施した最新の発掘成果に基づいて、ゴビ砂漠に暮らした人々の歴史と文化について紹介いたします。

○受講資格／原則として、県内に在住、もしくは勤務の方。

○受講料／無料

○申込方法／受講を希望される方は、住所・氏名・年齢・電話番号・希望会場をご記入のうえ、窓口または郵送、FAX、メールでお申込みください。

※先着順(定員になり次第、受付を終了いたします)

※定員に満たない講座は、開講当日まで受け付けますので、お問い合わせください。

※Webからのお申込みをご希望の方は生涯学習センターホームページ(<https://www.i-manabi.jp/>)、

『令和6年度コミュニティ・カレッジ』の申込みフォームよりお申込みください。

○受講の決定／受講できる場合は、特にご連絡いたしません。講座当日会場へお越しください。

会場	お申込み・お問い合わせ先
愛媛県生涯学習センター (松山市) 所在地: 愛媛県松山市上野町甲650番地	愛媛県生涯学習センター 〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲650番地 TEL(089)963-2111 FAX(089)963-4526 Eメール top@i-manabi.jp ホームページ <a href="https://www.i-manabi.jp/">https://www.i-manabi.jp/</a>
愛媛県総合科学博物館 (新居浜市) 所在地: 愛媛県新居浜市大生院2133-2	
愛媛県歴史文化博物館 (西予市) 所在地: 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2	